



# 三光幼稚園だより 7月号

<http://sanko-kg.minato-kyo.ed.jp>

ブログ: <http://sanko-kg.minato-kyo.ed.jp/blog>

X: <https://mobile.twitter.com/sankokyo>



令和8年6月29日  
港区立三光幼稚園  
園長 藤井 未知江

## 体験から学ぶこと

園長 藤井 未知江

先日、「とうきょうすくわくプログラム」の実践を行いました。子どもたちの好奇心や探究心を育むプログラムで、本園では令和5年度からその実践を積み重ねています。今回は年少組をメインに活動を実施しました。プール後の排水（大きくて太いホースから出る）を使い、砂場に水が流れ込む様子に対し、子どもたちが何を感じ、どのように砂や泥、水と関わるのかなどを専門家（東京大学大学院発達保育実践政策学センターの先生方）とともに子どもたちの様子を観察しました。

子どもたちは日常的に砂場で遊び、プール遊びが始まってからは特に水に親しみ、関わることを楽しんでいました。しかしプールの排水用の太いホースから勢いよく水が溢れ出る様子や、見慣れている砂場が大きな水たまりとなった光景には、どの子どもとも驚いていました。

驚きながらも泥水にそうっと触れることから始まり、少しずつ子ども自身が砂場に入り、泥水を手ですくい、感触を確かめ面白い姿、ホースの水の強い勢いを感じながら、その水の流れに逆らうようにホースから水をカップに入れようと、二人がかりで奮闘する姿、砂が水と混じり合う中で泡のようなものができることを不思議がる姿、泥水の中や砂の上でできた泥の泡はそのうち消えるけれど、自分の手にのせた泥の泡は、なぜ、なかなか消えないのかを不思議がり、教員や友達に知らせ理由を考える姿、などが見られました。

その一方で、泥水に足をを入れてみようとするものの、何度も足先を入れては、そのままやめてしまう子の姿がありました。ゆうに10回以上はチャレンジしようとしてはやめて、を繰り返していたでしょうか・・・ついに思い切ったように、両足で泥水の中にジャンプをしました。泥がかなりその子に跳ね返っていましたが、それがまた面白かったようで、ニコニコしながら、自ら何度も泥水にジャンプし、泥や水の跳ね返る動きを見ながら繰り返し試す姿がありました。大きな水たまりに足を入れたらなぜか抜けなくなってしまいう子もいました。水と砂が織りなす現象の不思議さを体験をとおして感じる事が、子どもたちにとって新たな学びとなりました。何故？と不思議に思う感覚や好奇心、そこで育まれる思考力は、小学校以降の学びの礎となっていきます。

7月下旬からは夏季休業となりますが、ご家庭でも是非、様々な体験を積み重ねていただき、健康で安全な楽しい夏休みをお過ごしください。



プールの排水で大きな水たまりができた砂場



水たまりを歩いたり触ったり、水の流れに逆らい、感触を楽しむ姿



思い思いに砂、水、泥と関わる子どもたち